

▶「燃える赤ヘル僕らのカーブ」特別支援校生徒が録音



広島市立広島特別支援学校
高2・高3の生徒8人が参加

カーブファンには、すっかりおなじみの曲が、
リニューアルされることになりました。

広島市で、レコーディングが行われました。

『燃える赤ヘル僕らのカーブ』は9回裏カーブ攻撃前、
選手を鼓舞するときに歌われます。

カーブの優勝を受けて、
39年ぶりに再収録されることになりました。

歌手・加納 ひろしさん
「演歌って1年、2年で終わってしまうじゃないですか。
それを39年も歌ってもらっているというのは、
歌手冥利につきますよね」

スタジオには、
今回は新しくバックコーラスを担当する
広島特別支援学校の生徒・8人も参加しました。
広島県出身の加納さんは事嶋 正可の本名で
『燃える赤ヘル僕らのカーブ』でデビュー、
古里への恩返しだと言います。

特別支援学校の生徒
「きょうは初めてカーブの歌を歌えて本当に楽しみです」
「一生で(収録が)あるのか分からないですけど
貴重な体験をさせていただいて本当にありがとうございました」

収録した応援歌は来年の2月に発売され、
来シーズンからスタジアムで流す曲も、
リニューアルされます。

[2016.12.14 19:3]

「燃える赤ヘル僕らのカーブ」39年ぶり再レコーディング

—地元でカーブがリードされている展開の9回裏終わりと、相手投手が交代したときによくかけられる応援歌が「燃える赤ヘル僕らのカーブ」。広島市出身の歌手・事嶋正可さんのデビュー曲で、1977年にレコーディングされました



—そしてことし「加納ひろし」の三名で



—そのバックコーラスは広島特別支援学校の女子生徒8人。加納さんが以前から障害者福祉に関わっている関係で、知人を通じて実現しました



🎵新「燃える赤ヘル僕らのカーブ」

—完成したCDは、来年2月22日発売予定で、来シーズンはマツダスタジアムでのニューバージョンが流されます

